

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)の治療のため受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させていただきますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者のCT所見の特徴と予後予測因子に関する検討

【研究の目的】

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の診療を通じ、患者は特徴的なリンパ節腫脹を呈していることが多いことがわかりました。CT所見の特徴を明らかにすることで診断的価値を検証し、検査データを元にSFTSの予後予測因子の検証を行うことを目的とします。本研究は多機関共同研究として実施します。

【対象となる方】

2013年1月1日～2024年12月31日にSFTSと確定診断された患者さん

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報:

- 1) 患者基本情報: 年齢、性別、居住地(山間部)、農業従事歴、動物飼育歴、基礎疾患、ステロイド使用、入院中の転記
- 2) 症状および身体所見: 発熱、下痢、嘔気、意識障害、リンパ節腫脹、圧痛の有無、皮疹、ダニ咬傷痕、
- 3) CT所見: リンパ節腫脹、リンパ節周囲の脂肪組織濃度の上昇、長径
- 4) 血液検査(血算、生化学、凝固、フェリチン、Dダイマー)
- 5) 血球貪食症候群(HLH)の有無

【研究期間】 2025年5月22日から 2027年3月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 感染症内科

本間 義人

【問い合わせ先】

〒790-0024 松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 TEL:089-947-1111